MATSUE city

松江市総合計画

2017-2021

松江を超える、
松江をつくる。

車から見えた、夕日と湖に
ふいに胸が熱くなった。
「松江城国宝化」の速報に、
思わず小さく手をたたいた。

家族ができてから、
このまちの未来を考えるようになった。

「郷土愛」なんて大それたものじゃないけれど、
一度は感じたことのある、まちへの想い。

一人一人のちょっとしたまちへの想いが、
次の松江をつくっていく。
そんな気がする。

まちへの想い、誇り、不安、希望
そのすべてを礎に

今日の松江を、超えていこう。

松江を超える、
松江をつくる。

index

01. 基本構想

基本理念 …… 01P
基本姿勢 …… 03P
将来像 …… 05P
将来像実現に向けた4つの基本目標 … 07P
人口ビジョンと2つの挑戦 …… 15P

02. 基本施策

総合計画の全体像 …… 19P
基本施策 …… 21P

03. 資料編

計画の推進方策 …… 58P
実施計画とは …… 59P
基本目標と各種計画一覧 …… 61P
総合計画とは …… 63P
時代の潮流と本市を取り巻く現状 …… 65P
条例 …… 67P
審議会委員名簿 …… 69P
策定の歩み …… 70P
市民意識調査結果 …… 71P
諮問書・答申書 …… 73P

message

松江を超える、松江をつくる。

松江市長　松浦 正敬

今後5年間にわたって取り組む総合計画の基本理念を「松江を超える、松江をつくる。」としました。松江を超える松江とは、一体どういう意味なのか。まず、分かっていただきたいのは、今の松江が多くの問題を抱えているから、諸課題に取り組むという後ろ向きの発想では決してないということです。むしろ、魅力ある松江をもっともっと魅力あるまちに磨き上げる、いわば今の松江を乗り越えるという意味なのです。全国の地方都市は例外なく、人口減少、超高齢化という大きな問題を抱えていますが、基本理念の「松江を超える、松江をつくる。」から松江の優位性や特異性、何よりも強い決意を感じ取っていただきたいのです。

そのためには、市民や企業、行政などが価値観を共有するだけでなく、組織や圏域、業種などの枠を飛び越えて、しなやかに連携することが求められます。そして、何よりも大事なことは、引っ込み思案な松江気質を打ち破り、積極的に松江の魅力を国内外に発信することです。

正念場と腹をくくって「松江を超える、松江をつくる。」。そして、市民みんなが「日本一大好きなまち」と胸を張って言える松江を実現しようではありませんか。

基本理念

松江を超える、松江をつくる。

「私たちは松江市民です。雄大な日本海、美しい中海と宍道湖、八雲立つ山々にいだかれた松江がだいすきです」―市民憲章の冒頭の一節です。そう、私たち松江市民は、松江がだいすきなのです。自然はもちろん、歴史や文化、しっとりとした空気感、水の気配と匂い、そして何よりも温かい心根の人たちがだいすきなのです。松江城の国宝指定を機にもっともっとすきになり、そんな松江を誇りに思う気持ちや自信を持つ自分もちょっぴりすきになってきているはずです。

でも、片方で、まだまだ今までの殻に閉じこもっている自分がいませんか。外に向かって「松江がだいすき」と大声で叫んでいますか。「松江ってどんなまち？」と聞かれて、「日本一だいすきなまち」と胸を張って言えますか。

今、松江市は他の地方都市同様に人口減少、超高齢化という2つの大きな問題に直面しています。松江がだいすきでも、手をこまねいていたら、いや少々の対応策程度では衰退の一途をたどるだけという、困難な問題であることを知ってほしいのです。

では、どうすればいいのか。まずは、外に向かって松江の魅力を積極的に発信することから始めようではありませんか。今までの殻を打ち破るのです。控えめな松江気質から卒業するのです。

心配はありません。「松江がだいすき」な人たちが手を組み、ネットワークを広げることで、今でも内外の人たちをひきつける松江の魅力に磨きがかかり、価値を高めていくのですから。自治体や地域、組織や業種の枠を超えてしなやかに連携をすることで、魅力は深みを増し広がるのですから。自信を持っていいのです。

「たいしたことはありませんわ」の言葉を封じて、市民が「松江は住みやすい」と言い、企業が「働きがいのある場」を積極的に国内外にＰＲし、行政が「日本一住みやすいまちを実現する」を約束する。その先にあるのが「今の松江を超えた松江」なのです。

「松江を超える、松江をつくる」

私たちは、この言葉を今後5年間のまちづくりの基本理念とします。

基本姿勢

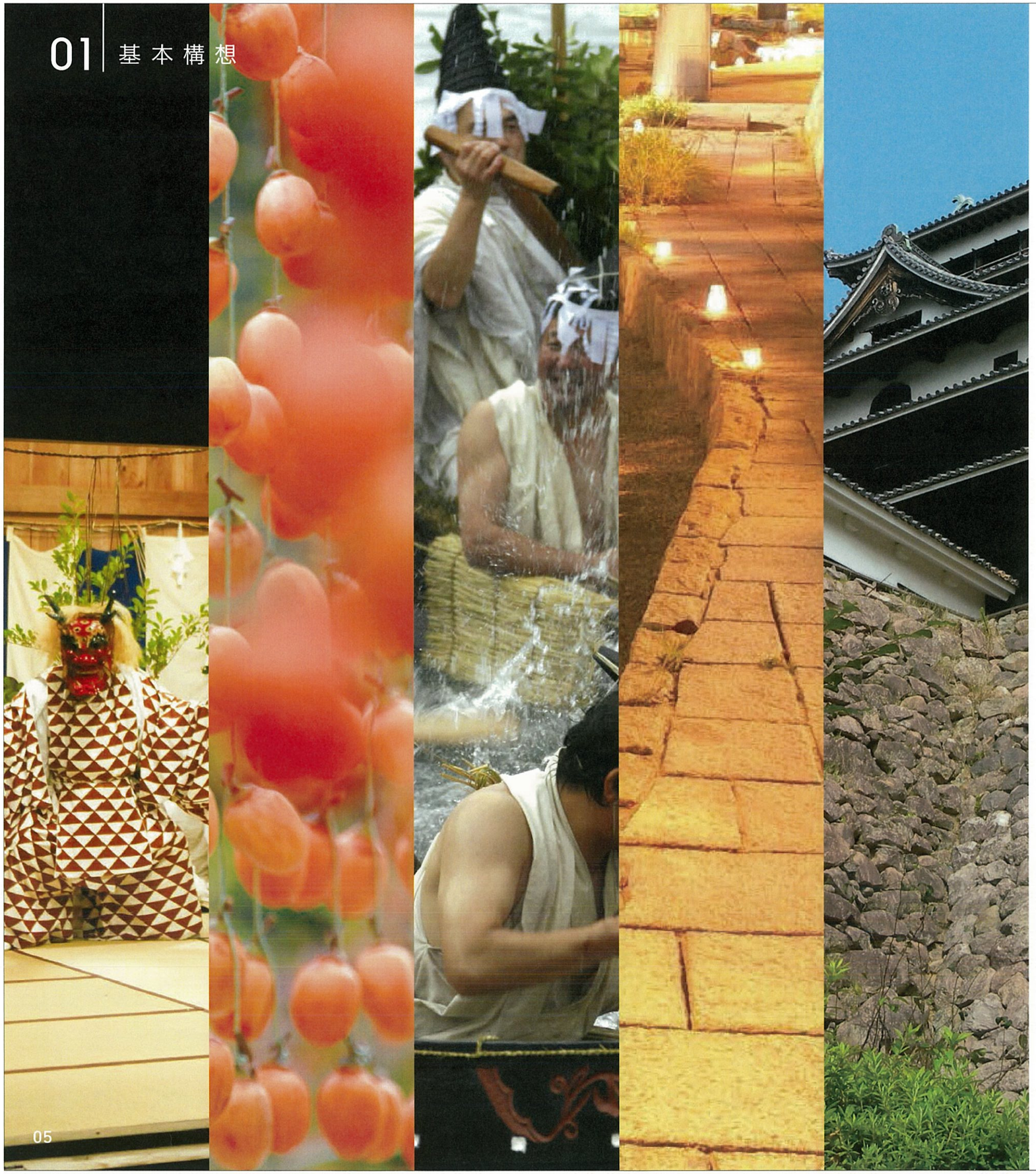
共創・協働のまちづくり

まちづくりの主役は、市民です。何をするのか、どこに行くのかなど一人一人の行動の積み重ねにより、今の松江のかたちができ、これからの松江がつくられていきます。

この先のまちづくりは、本市がめざす将来像を市民、事業者、行政がしっかりと共有し、その実現に向けて、それぞれが自らの問題として行動することが大切です。

そのためには各主体が対話により信頼関係を築き、互いの知識や経験を十分に生かす姿勢が大切です。

今後5年間のまちづくりは、市民、町内会・自治会、ＮＰＯ法人、市民活動団体、企業などと行政が企画段階から一緒になって知恵を出し合い、それをともに実行する「共創・協働」の姿勢を大切にしながら推進していきます。



将来像

選ばれるまち
松江の実現

本市は、他のまちにはない魅力や特性を持っています。

それは、神話の世界を現代に伝える地形や神事であり、茶の湯文化が息づく暮らしであり、高度な都市機能と人と人との絆が共存するコミュニティの存在などです。

また、IT産業の集積、シジミや牡丹などの一次産品、伝統工芸など、国内外から注目される素材や技術があります。

これら、先人から受け継いだ全国に誇る魅力や価値を生かし、発信することで、松江の価値に共感する人の輪が広がるまちを実現します。

そのため、若者や女性、子どもや高齢者など、松江に暮らすあらゆる世代が、自分自身の夢や目標に果敢に挑戦し、互いに応援し合う風土・環境を備えたまちへと高めていきます。

そのような風土を背景に、異業種連携や新たな技術の研究・開発、伝統技術や農林水産業の基盤を生かしたイノベーションが進み、松江だからこそ生み出せる付加価値の高いサービスや商品づくりが進展するまちを実現します。

同時に、「国際文化観光都市」としての風格と価値を磨き、発信することで、日本や世界の中での「松江」の存在感を高めていきます。

人と人との温かなつながりに支えられるコミュニティを大切にしながら、誰もが安心して暮らせるまちを実現します。

この地に暮らす市民自身が、豊かで多様な地域資源に恵まれた、この地での暮らしを楽しみ、誇りを持てる環境づくりを基点として、住む場所、働く場所、学ぶ場所、訪れる場所として「選ばれるまち　松江」の実現をめざします。

将来像実現に向けた
4つの基本目標

1. 人を大切に育てる

松江の未来を拓くのは、新たな可能性に挑戦する力です。

教育や子育て環境の充実、自立を支えるセーフティーネットの整備など未来を担う人財をまち全体で育てます。

特に、子どもたちや若者が学び育つ中で夢を描き、その実現にチャレンジできる環境整備に取り組みます。

また、誰もが自分の目標に向かって挑戦でき、社会で活躍できる環境整備に取り組み、市民が生き生きと暮らす風土を醸成していきます。

未来を担う
次世代人財を育てる

子育て環境日本一の実現

自立を支える
セーフティーネットの整備

男女共同参画社会の実現

誰もが活躍できる
社会の実現

将来像実現に向けた
4つの基本目標

2. 個性の発揮と広域連携で輝く

松江を超える、
松江をつくる。

選ばれるまちの実現には、暮らしていくための稼げる「しごと」が不可欠です。

それには、中小企業・小規模企業、農林水産業、RubyなどのIT産業の振興や観光文化産業の振興などがカギとなります。

本市の資源や魅力をさらに磨き、価値を高め、稼げる産業をつくるとともに、地域課題解決を仕事（稼ぐ手段）へとつなげる取り組みを推進します。

また、異業種連携、圏域連携などを通じて新たな価値を生み出し、新産業を創出するなど、魅力ある雇用づくりを推進します。

きらりと光る元気な
企業・事業者を育てる

地域と食を支える
農林水産業の振興

地域が元気になる
しくみづくり

観光文化産業の魅力向上と
インバウンド強化

中海・宍道湖・大山圏域の
連携推進

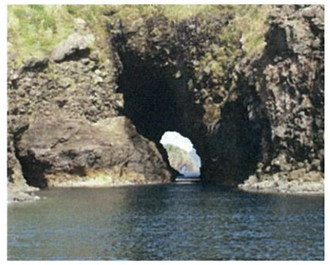
将来像実現に向けた
4つの基本目標

3. 誇りと愛着を生む

生き生きと暮らす市民の姿は、人々の心を惹きつけます。

市民が、自然、歴史、文化、景観、都市デザイン、生涯学習、スポーツ、移住・定住施策など松江のまちへの理解を深め、松江の暮らしを楽しみ、松江に誇りと愛着を感じることができる環境づくりに取り組みます。

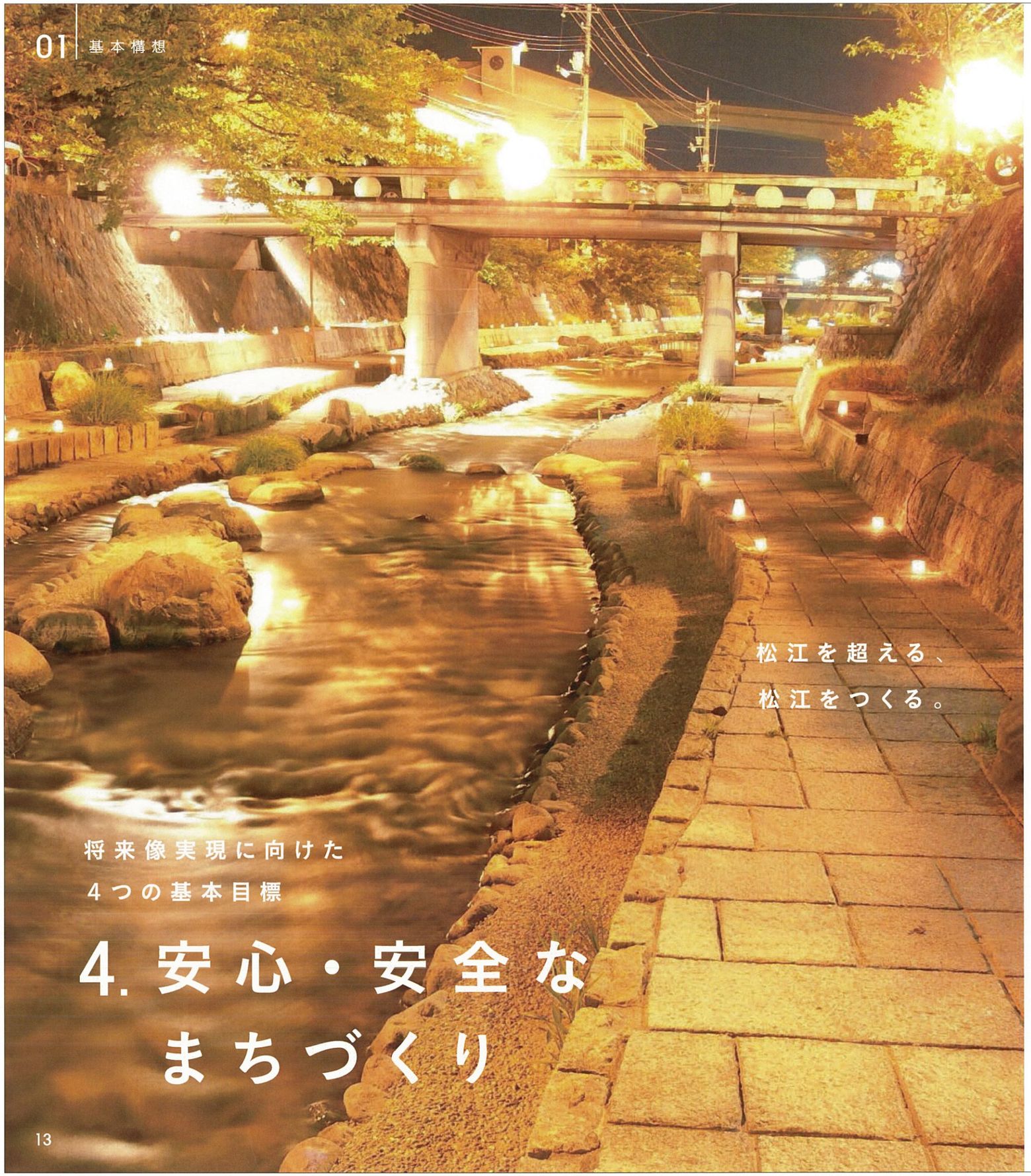
さらに、「松江暮らし」の魅力を発信し、「松江のよさ」を共感できる人々の輪を広げていきます。



自然環境・歴史・文化を
生かしたまちづくりの推進

松江の魅力を高める
環境・都市デザインの推進

人材還流と
松江暮らしの推進



松江を超える、
松江をつくる。

将来像実現に向けた
4つの基本目標

4. 安心・安全なまちづくり

未来への希望や夢に挑戦する気持ちは、安全に安心して暮らせる生活環境があればこそ生まれてきます。

多くの方に松江を選んでいただくためには、安全に安心して暮らせる本市の特長を守っていかなければなりません。

医療・福祉環境の充実、健康づくり、災害に強いまちづくりなどをさらに進めるとともに、時代に適応した効果的で効率的な行財政運営に努め、安全・安心で、持続可能な活力あるまちづくりを推進します。

健康都市まつえの推進

地域で支え合う
福祉体制づくり

安全に安心して生活できる
環境づくり

今ある社会資本の活用と
必要な社会資本の整備

時代に適応した効果的で
効率的な行財政運営

『松江市まち・ひと・しごと創生第1次総合戦略』より

人口ビジョンと2つの挑戦

挑戦1
出生数
約2,000人/年
をめざす

挑戦2
社会増
平均270人/年
をめざす

松江市の人口は平成12(2000)年をピークに減少しつつあります。

年間の出生者数は1,800人前後で、出生率は1.72と持ち直してきていますが、平成17(2005)年以降は死亡者数が出生者数を上回り、いわゆる自然減の状況が続いています。また、転出者が転入者を上回る社会減も続いており、推計では現在の人口約20万人が2060年には約13万人まで減少すると見込まれています。また、高齢化率も現在の約28%から約40%になるなど、担い手や後継者不足に待ったなしの状況が続いています。

この人口減少社会にどのように対応し、持続可能な活力あるまちをどのように実現していくのかが、大きな課題となっています。

「選ばれるまち松江」の実現を通じて、松江を担う人の育成・確保を進め、2060年に人口約18万人を確保することをめざします。そのために、出生者数年間2,000人、社会増年間270人の二つの挑戦を掲げ、取り組みを進めます。

02

基本施策

総合計画の全体像

【基本理念】
松江を超える、
松江をつくる。

【将来像】
「選ばれるまち松江」
の実現

【基本姿勢】
共創・協働のまちづくり

【基本目標】

1 人を大切に育てる

- 未来を担う次世代人財を育てる
- 子育て環境日本一の実現
- 自立を支えるセーフティーネットの整備
- 男女共同参画社会の実現
- 誰もが活躍できる社会の実現

2 個性の発揮と広域連携で輝く

- きらりと光る元気な企業・事業者を育てる
- 地域と食を支える農林水産業の振興
- 地域が元気になるしくみづくり
- 観光文化産業の魅力向上とインバウンド強化
- 中海・宍道湖・大山圏域の連携推進

3 誇りと愛着を生む

- 自然環境・歴史・文化を生かしたまちづくりの推進
- 松江の魅力を高める環境・都市デザインの推進
- 人材還流と松江暮らしの推進

4 安心・安全なまちづくり

- 健康都市まつえの推進
- 地域で支え合う福祉体制づくり
- 安全に安心して生活できる環境づくり
- 今ある社会資本の活用と必要な社会資本の整備
- 時代に適応した効果的で効率的な行財政運営

【主要施策】